

## <受付より >

年末・年始 **休診日 12月30(金)~1月4(水)**

(12月29日(木)は診療は午前中までです。)

\*平成23年1月5日(木)午前9時より診療開始

クリスマス

お正月ワイ



☎ 0120

648-174

(ムシ歯1本もナシ)

## 《藤田衛生士カムカムアドバイス第29回》

♥妊婦の予防・赤ちゃんの健康のために♥

妊娠中、お口の中は、生活習慣や体質の変化から通常よりも**むし歯や歯周病になりやすい**のです。

- ① つわりによって、奥歯の歯磨きが難しくなる為磨き残しが多くなる。
- ② 少しずつ何度も食事を取るために口の中で**酸性の状態が長く続き、むし歯が出来やすくなる。**
- ③ 女性ホルモンが増加して通常よりも歯肉に炎症が起こりやすく「**妊娠性歯周炎**」を引き起こす。
- ④ **唾液の性質が変わり、口の中がネバネバになり細菌が活動しやすくなる。**

### ●妊娠期の歯周病に注意！！

歯周病のひどい妊婦さんは歯周病菌の影響で早産や低体重児出産など妊婦トラブルの危険性が高くなることが報告されています。

また母子感染によって乳幼児へむし歯菌が移ってしまふ事があり、むし歯の多いお母さんの子供は早くから虫歯になる危険性が高いと言われている。

**妊娠中でもむし歯や歯周病の治療が可能です。**

お母さんの口の中を清潔にして置く事が赤ちゃんにとって最も大切です。(ご相談下さ

## インプラントの治療は安全ですか？ 回答 Dr宏美

インプラントの手術は、通常、**局所麻酔**をして行います。場合によっては、恐怖心の強い方に対しては**静脈内鎮静法**などを併用して、眠ったような状態で手術を受けることも可能です。いずれにしても**通常、手術中はほとんど痛みを感じる事はありません。**

術後の痛みに関しても、治療内容による差や個人の感じ方に差はありますが、**抜歯を行った時と同じ程度**です。

手術のために入院する必要もありませんし、**翌日から通常の生活を送ることが出来ます。**

また、現在使われている歯科用インプラントは**整形外科**で骨折の治療などに使用されるボルトやナットと同じ素材である、**純チタン・チタン合金**で作られています。

そこから分かるように、チタンはアレルギーなども起こりにくく、**骨と結合型が一般的**で体に調和する素材ですから、**無害で発ガン性もなく腐食しません。**

インプラント治療を受けた後、**適切なメンテナンス**を行う事が出来るのであれば、**半永久的に第2の永久歯としての機能を維持する事も不可能ではありません。**

インプラント治療は十分な基礎知識と技術を持って行われれば**非常に安全性の高い手術**ですが、治療・手術にリスクのないものはありません。

ですから、手術前に**しっかりと診断を受けることが重要**です。インプラントを埋入する顎の骨の状態・神経・血管の存在をしっかりと把握する必要があります。

安全な治療を実現するためには**重要視すべきは、CT**です。

人間の顎には大きな神経や血管が通っているので傷つけないように歯科医(外科医)は手術をします。そして、**正確な診断と綿密な治療計画を立て、それに基づいて慎重に手術を行います。**事前の検査が不十分であったり、患者様の全身状態の確認が不十分であった場合など、適切な施術が行われなかった結果、再手術が必要になる事例もあります。



年末年始急患診療《日曜・祝日(午前10時~11時30分、午後1時~3時30)

◎南☎(26)3310 鵜沼石上2-8-4 口腔保険センター内

◎北☎(88)7315 大庭5527-1 保健医療センター内

2012年が皆さまにとって良い年であります様にお祈り申し上げます。

来年もよろしくお祈り申し上げます。 <スタッフ一同>